

平成 29 年 3 月 17 日

阿賀野市議会議長 高 橋 幸 信 様

阿賀野市長 田 中 清 善

## 「第18回議会報告会」における市民からの要望等について（回答）

平成29年3月8日付け、阿議第267号で依頼のこのことについて、下記のとおり回答いたします。

## 記

件 名	<p>① 通学路の除雪について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路の除雪など、子どもたちへの安全対策を見直してもらいたい。</li> <li>・ 国道、県道、市道によって、除雪されているところとされていないところがある。</li> <li>・ 山間部の除雪が遅いのではないか。</li> </ul>	阿賀野市PTA連絡協議会
<p>冬期間の除雪につきましては、通学路や集落内生活道路の交通確保を図るため、車道除雪82台、歩道除雪10台の合計92台の除雪機械により実施しており、短時間での作業完了が求められております。</p> <p>早朝の除雪作業は、降雪状況を確認し午前3時に出勤し、通勤や通学に間に合うことを原則としておりますが、朝方からの降雪や、短時間に集中した降雪などでは、一時的に通行しにくい道路状況となることがあります。</p> <p>歩道除雪については、今年1月の大雪時には、日曜日に市全域で一斉に歩道除雪を行い、翌朝の児童の通学路を確保いたしました。</p> <p>しかしながら、降雪当日の歩道除雪は、機械台数と人員に限られており作業速度も遅くなるため、作業完了が児童の登校に間に合わない場合があります。</p> <p>今後さらに、山間部の降雪状況なども勘案し、迅速かつ適切な除雪対応ができるよう、除雪計画のいっそうの充実を図り、冬期の円滑な道路交通を確保して参りたいと考えております。</p> <p>また、先進自治体では、自治会やPTAなどの地域コミュニティによる除雪活動に対する支援を行っており、市でもこのような取り組みが有効であるか検討を行って参りたいと考えております。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 産業建設部 建設課 維持緑地係 (内線2313)</p>		

阿教委第 935 号

平成 29 年 3 月 14 日

阿賀野市議会議長 高橋幸信様

阿賀野市教育委員会

教育長 岩村弘一

「第18回議会報告会」における市民からの要望等について（回答）

平成29年3月8日付け、阿議第268号で依頼のこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

件名	① 自治会と小学校の結びつき、地域の連携が薄くなってきている。小学校統合の際の新たな問題。また、必要な費用の予算付けをお願いしたい。	阿賀野市PTA 連絡協議会
<p>小学校の閉校により、その学区においては、これまでのように地域と学校との直接的な結びつきが薄くなるのは否めないところですが、全ての学校において、「学校評議員制度」を設けており、学校、地域そして保護者が集い、学校活動に対して意見交換を行っているところです。</p> <p>また、一部の学校においては、学校評議員以外にも主に地域の方からなる独自の組織を設置し、地域との更なる連携を図るべく取り組みを進めております。</p> <p>市では、このような学校と地域との関わり合いを深めることを目的に、「あがの子ども未来フォーラム」や「地域連携プログラム作成活用事業」など、地域連携に係る事業予算を措置し、その取り組みを支援してまいります。</p>		
担当 教育委員会 学校教育課		TEL : 62-2790